



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年2月13日

上場会社名 特殊電極株式会社

上場取引所 東

コード番号 3437 URL http://www.tokuden.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高田 芳治

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 最高財務責任者 (氏名) 高島 良成 TEL 06-6401-9421

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：無

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	6,609	6.1	461	10.8	473	10.3	326	△17.3
28年3月期第3四半期	6,229	3.7	416	133.0	429	117.2	394	308.5

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 347百万円 (32.8%) 28年3月期第3四半期 261百万円 (128.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	407.95	ー
28年3月期第3四半期	493.10	ー

平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	7,565	3,878	51.1	4,825.75
28年3月期	7,000	3,587	51.0	4,459.34

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 3,863百万円 28年3月期 3,570百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	ー	3.50	ー	35.00	ー
29年3月期	ー	35.00	ー	ー	ー
29年3月期(予想)	ー	ー	ー	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施しており、平成28年3月期の年間配当金の合計は「ー」として記載しております。(当該株式併合を踏まえて換算した場合、平成28年3月期の年間配当金の合計は1株につき70円)

3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,600	2.8	523	6.5	538	5.5	424	△3.2	529.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	801,000株	28年3月期	801,000株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	452株	28年3月期	352株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	800,614株	28年3月期3Q	800,730株

平成27年10月1日を効力発生日として、10株を1株とする株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善傾向にあり、全体としては緩やかな景気回復基調が続きましたが、アジア新興国等の景気の下振れ懸念に加え、米国の政権移行などによる海外経済の不確実性が増しており、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中にあつて当社グループは、営業部門におきましては、営業活動の効率化と高度化を推進し、売上拡大に鋭意努力してまいりました。

生産工場及び工事工場におきましては、安全第一のもと、技術の伝承を進めると共に品質の向上やコスト削減を強力に推し進めてまいりました。

研究開発などの技術部門におきましては、新技術、新製品・新商品の開発ならびに既存技術の向上に取り組んでまいりました。

また、タイの海外子会社におきましては、販売体制の強化を進めてまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は6,609百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。また、損益面におきましては、営業利益は461百万円（同10.8%増）、経常利益は473百万円（同10.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は326百万円（同17.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 工事施工

積極的な提案型営業と高度技術の提供、徹底したコスト削減の実行により、受注拡大に努めました結果、鉄鋼関連の保全工事、アルミダイカスト関連工事、現地機械加工工事、粉碎ミル工事、連続鑄造ロール工事の受注が増加したことにより、売上高は4,748百万円（前年同四半期比9.2%増）、セグメント利益は653百万円（同14.0%増）となりました。

② 溶接材料

直販体制の優位性を活かし、新規顧客の開拓と既存顧客の更なる深耕による販売力強化に努めましたが、当社の主力でありますフラックス入りワイヤなどの製品の売上高は393百万円（前年同四半期比3.6%減）、また、商品のアーク溶接棒、TIG・MIGなどの溶接材料の売上高は612百万円（同10.1%減）となり、溶接材料の合計売上高は1,006百万円（同7.6%減）、セグメント利益は180百万円（同5.6%減）となりました。

③ その他

自動車関連のアルミダイカストマシーン用部品の受注は減少しましたが、環境関連装置の受注が増加したことにより、売上高は855百万円（前年同四半期比8.1%増）、セグメント利益は85百万円（同5.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は6,250百万円となり、前連結会計年度末に比べ580百万円増加しました。これは、受取手形及び売掛金43百万円の減少がありましたが、現金及び預金609百万円、半成工事49百万円の増加が主な要因です。固定資産は1,315百万円となり、前連結会計年度末に比べ14百万円減少しました。これは、投資その他の資産37百万円の増加がありましたが、有形固定資産41百万円、無形固定資産10百万円の減少が主な要因です。

この結果、総資産は、7,565百万円となり、前連結会計年度末に比べ565百万円増加しました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,827百万円となり、前連結会計年度末に比べ283百万円増加しました。これは、賞与引当金83百万円の減少がありましたが、支払手形及び買掛金183百万円、未払法人税等139百万円、その他64百万円の増加が主な要因です。固定負債は859百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少しました。これは、その他8百万円の減少が主な要因です。

この結果、負債合計は、3,687百万円となり、前連結会計年度末に比べ274百万円増加しました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は3,878百万円となり、前連結会計年度末に比べ290百万円増加しました。これは、非支配株主持分1百万円の減少がありましたが、利益剰余金270百万円の増加が主な要因です。

この結果、自己資本比率は51.1%（前連結会計年度末は51.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月19日の決算短信で公表いたしました業績予想（連結・個別）を修正しております。詳細につきましては、平成29年1月30日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計方針の変更

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,153,563	1,763,228
受取手形及び売掛金	3,372,349	3,328,989
商品及び製品	521,690	560,938
半成工事	337,381	386,695
原材料及び貯蔵品	72,865	79,630
その他	212,656	131,676
貸倒引当金	△856	△1,051
流動資産合計	5,669,650	6,250,108
固定資産		
有形固定資産	1,022,190	980,605
無形固定資産	47,183	36,722
投資その他の資産	261,089	298,217
固定資産合計	1,330,463	1,315,546
資産合計	7,000,114	7,565,655
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,856,442	2,040,040
短期借入金	220,000	210,000
未払法人税等	—	139,910
賞与引当金	215,720	132,626
工事損失引当金	12,962	2,340
その他	238,673	302,819
流動負債合計	2,543,799	2,827,736
固定負債		
退職給付に係る負債	549,192	548,678
その他	319,634	310,774
固定負債合計	868,826	859,452
負債合計	3,412,625	3,687,189
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,812	484,812
資本剰余金	394,812	394,812
利益剰余金	2,783,164	3,053,730
自己株式	△728	△968
株主資本合計	3,662,060	3,932,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△7,071	9,116
為替換算調整勘定	783	905
退職給付に係る調整累計額	△85,407	△79,162
その他の包括利益累計額合計	△91,695	△69,139
非支配株主持分	17,123	15,218
純資産合計	3,587,488	3,878,465
負債純資産合計	7,000,114	7,565,655

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	6,229,103	6,609,554
売上原価	4,565,550	4,843,469
売上総利益	1,663,553	1,766,084
販売費及び一般管理費	1,247,179	1,304,783
営業利益	416,373	461,301
営業外収益		
受取利息	767	304
受取配当金	2,307	1,759
受取保険金	207	5,855
駐車場収入	2,265	2,225
長期預り金一括返済益	3,716	—
その他	6,013	3,742
営業外収益合計	15,277	13,888
営業外費用		
支払利息	1,447	824
駐車場収入原価	692	677
その他	—	46
営業外費用合計	2,140	1,547
経常利益	429,510	473,642
特別利益		
固定資産売却益	2,290	49
為替換算調整勘定取崩益	111,299	—
特別利益合計	113,589	49
特別損失		
固定資産除却損	1,553	225
特別損失合計	1,553	225
税金等調整前四半期純利益	541,546	473,467
法人税、住民税及び事業税	4,357	128,958
法人税等調整額	146,562	19,931
法人税等合計	150,919	148,889
四半期純利益	390,626	324,577
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,211	△2,032
親会社株主に帰属する四半期純利益	394,838	326,610

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）
四半期純利益	390,626	324,577
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,348	16,188
為替換算調整勘定	△116,525	250
退職給付に係る調整額	2,813	6,245
その他の包括利益合計	△129,060	22,683
四半期包括利益	261,565	347,261
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	268,156	349,166
非支配株主に係る四半期包括利益	△6,590	△1,905

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。